

# 2019年度 事業報告書

2019年4月1日から 2020年3月31日まで



公益社団法人日本オリエンテーリング協会

## [ I ] 法人の概要

当協会は、2012年6月4日付けで公益社団法人の認定を受け、同日設立登記を行った。  
この事業報告は、公益社団法人として第8期の事業報告となる。

### 1. 設立年月日

公益社団法人	2012年6月4日
社団法人	1991年4月26日
協会設立	1990年7月1日

### 2. 定款に定める目的

この法人は、我が国におけるオリエンテーリングを統括し、代表する団体として、オリエンテーリングの普及及び振興を図り、もってアウトドアスポーツの健全な発展に貢献するとともに、国民の心身の健全な発達に寄与することを目的とする。

### 3. 定款に定める事業

- (1) オリエンテーリングの普及及び指導に関する事業
- (2) オリエンテーリング競技会の開催及び公認に関する事業
- (3) オリエンテーリングの競技力向上に関する事業
- (4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

### 4. 会員に関する事項

(1) 会員数		
正会員数	計37会員	[36都道府県、日本学連]
(2) 指導員・競技者登録・コントローラ登録数		
ディレクタ1級指導員数	79名	
ディレクタ2級指導員数	135名	
インストラクタ指導員数	103名	
ナビゲーション・インストラクタ	37名	
競技者登録数	2,306名	
IOFイベントアドバイザー	7名	
イベントアドバイザー登録数(フット)	34名	
准イベントアドバイザー登録数(フット)	3名	
イベントアドバイザー登録数(トレイル)	15名	

### 5. 都道府県のオリエンテーリングを統括する会員(2019年度末現在)

北海道オリエンテーリング協会	堀井 学
岩手県オリエンテーリング協会	三ヶ田礼一
宮城県オリエンテーリング協会	岡本和広
秋田県オリエンテーリング協会	富樫博之
福島県オリエンテーリング協会	加藤一郎
茨城県オリエンテーリング協会	狩野平左衛門岳也
栃木県オリエンテーリング協会	岡崎良昭
群馬県オリエンテーリング協会	津金沢民男
(特非)埼玉県オリエンテーリング協会	福原正三
千葉県オリエンテーリング協会	奥田健史
東京都オリエンテーリング協会	杉本光正
神奈川県オリエンテーリング協会	碓井 進
新潟県オリエンテーリング協会	目黒正文
石川県オリエンテーリング協会	不破大仁
福井県オリエンテーリング協会	奥井稠朗
山梨県オリエンテーリング協会	酒井 寛
長野県オリエンテーリング協会	美谷島孝
岐阜県オリエンテーリング協会	大場尊美
静岡県オリエンテーリング協会	坂本太郎
(特非)愛知県オリエンテーリング協会	新帯 亮
三重県オリエンテーリング協会	前田亮一
滋賀県オリエンテーリング協会	古津和夫
京都府オリエンテーリング協会	古川勝美
大阪府オリエンテーリング協会	北川達也
兵庫県オリエンテーリング協会	尾上俊雄
奈良県オリエンテーリング協会	奥野信亮
和歌山県オリエンテーリング協会	山下直也
島根県オリエンテーリング協会	森山健一

岡山県オリエンテーリング協会  
 広島県オリエンテーリング協会  
 山口県オリエンテーリング協会  
 徳島県オリエンテーリング協会  
 香川県オリエンテーリング協会  
 愛媛県オリエンテーリング協会  
 福岡県オリエンテーリング協会  
 宮崎県オリエンテーリング協会  
 日本学生オリエンテーリング連盟  
 加盟していない県

千田博通  
 伊東博司  
 渡邊正次  
 林 和志  
 松井繁成  
 河野忠康  
 原田 隆  
 小八重善裕  
 河合利幸

青森県、山形県、富山県、鳥取県、高知県、長崎県、佐賀県、大分県、熊本県、鹿児島県、沖縄県

6. 役員等に関する事項(2019年度末現在)

(理事括弧内はブロック選出区域等を表す)

代表理事/会長(学識経験者)	山西哲郎	
代表理事/副会長(学識経験者)	愛場庸雅	
代表理事/副会長(学識経験者)	前田真理子(大里真理子)	
業務執行理事(学識経験者)	藤井範久	[競技力担当]
業務執行理事(日本学連選出)	木村佳司	[総務担当]
業務執行理事(学識経験者)	平島俊次	[技術担当]
業務執行理事(東海B)	新帯 亮	
業務執行理事(北海道・東北B)	信原 靖	[普及担当]
理事(北関東B)	高橋利之	
理事(首都圏B)	宮川早穂	
理事(首都圏B)	奥田健史	
理事(北信越B)	小林 力	
理事(近畿B)	楠見耕介	
理事(中国・四国・九州B)	伊藤好信	
理事(学識経験者)	茅野耕治	
理事(学識経験者)	羽鳥和重	
理事(学識経験者)	島津 弘	
理事(学識経験者)	瀬川 出	
理事(日本学連選出)	藤本拓也	
監事	齋藤和助	(税理士)
監事	尾上秀雄	
顧問	堀井 学	
	村越 真	

7. 事務局に関する事項(2019年度末現在)

臨時職員 7名

8. 社員総会、理事会等に関する事項

(1) 社員総会

日時 2019年6月9日(日) 10:30-11:50

会場 東京都品川区「立正大学品川キャンパス」

審議前に村越副会長から2018年度事業と財政の概要と会員の協力により収支の改善が進んだと報告。

議題

審議事項

第1号議案 2018年度事業報告及び2018年度財務諸表について

・監事報告 監事欠席に伴い、事務局が会計・業務監査の結果を報告。

審議後採決 出席(賛成20)、議決権行使(賛成12、反対0)、及び委任状(議長委任)3、反対0、計35名で賛成が過半数を超え承認。

第2号議案 定款の一部改訂について

1. 事務所の住所変更

2. 副会長の増員

3. 理事会の開催数

4. 理事会の運営についての代表理事、議長定義、議事録署名人の変更

審議後採決 出席(賛成20)、議決権行使(賛成12、反対0)、及び委任状(議長委任)3、反対0、計35名で賛成が過半数を超え承認。

第3号議案 理事選任

再任 藤井範久、伊藤好信、木村佳司、平島俊次、前田真理子(大里真理子)、楠見耕介、愛場庸雅  
 島津 弘、瀬川 出、信原 靖、山西哲郎、羽鳥和重、茅野耕治、奥田健史、新帯 亮

新任 小林 力、高橋利之、宮川早穂、藤本拓也

退任 村越 真、荻田育徳、高野由紀、藤島由宇

監事 再任 齋藤和助、尾上秀雄

審議後採決 出席(賛成20)、議決権行使(賛成13、反対0)、及び委任状(議長委任)3、反対0、

計35名で賛成が過半数を超え承認。  
[詳細については議事録参照(JOA-WEB掲載)]

## (2)理事会

### 第20回理事会

日時 2019年5月25日(土) 10:09-16:00  
会場 東京都品川区「立正大学品川キャンパス」  
議題 審議事項  
第1号議案 2018年度事業報告書案 審議・原案通り承認  
第2号議案 2018年度財務諸表案 審議・原案通り承認  
第3号議案 定款の一部改訂案 審議・原案通り承認  
第4号議案 アンチ・ドーピング委員会の委員の追加案 審議・原案通り承認  
その他、討議及び報告事項  
[詳細については議事録参照(JOA-WEB掲載)]

### 第21回理事会

日時 2019年6月9日(日) 12:00 - 12:40  
会場 東京都品川区「立正大学品川キャンパス」  
議題 審議事項  
第1号議案 理事改選に伴う、役員選任 審議・原案通り承認  
第2号議案 委員会委員の選任 審議・原案通り承認  
[詳細については議事録参照(JOA-WEB掲載)]

### 第22回理事会

日時 2019年9月22日(土) 10:00-14:30  
会場 東京都新宿区 日本オリエンテーリング協会事務局  
議題 審議事項  
第1号議案 内閣府提出の事業報告書訂正と対応 審議・原案通り承認  
第2号議案 規程の改訂 審議・原案通り承認  
第3号議案 新規委員会の設置及び委員の承認 審議・原案通り承認  
第4号議案 公認大会のあり方を考えるWGの報告と対応 審議・原案通り承認  
第5号議案 羽鳥理事からの提出議案 審議・取り消す4、取り消さない9、棄権1により否決された  
第6号議案 競技委員会からの提出議案  
・全日本エリート出場資格 審議・賛成9、棄権5、賛成多数で承認  
・スタート地区地図配布 審議・修正の上全会一致で承認  
・アピール 審議後保留となった  
[詳細については議事録参照(JOA-WEB掲載)]

### 第23回理事会

日時 2020年2月22日(土) 10:00-17:00  
会場 大阪府大阪市福島区 梅田新研修センター  
議題 審議事項  
第1号議案 中長期事業計画 審議・全会一致で承認  
第2号議案 公認大会の改革方針 審議・全会一致で承認  
第3号議案 全日本大会実行委員会委員 審議・全会一致で承認  
第4号議案 スプリント委員会設立 審議・全会一致で承認  
第5号議案 WMG2021に向けての基本財産引当資金の運用 審議・全会一致で承認  
第6号議案 2020年度事業計画・予算案 審議・全会一致で承認  
第7号議案 JSCからの質問状に対する回答、謝金規程の一部改訂 審議・全会一致で承認  
第8号議案 イベントアドバイザーに関する規程の変更 審議・全会一致で承認  
第9号議案 AsJYOCルール改正提案 審議・全会一致で承認  
第10号議案 スキーO世界選手権誘致 審議・全会一致で承認  
第11号議案 委員会規程の改訂 審議・全会一致で承認  
第12号議案 アスリート委員会の設置 審議・全会一致で承認  
第13号議案 委員会の整理統合・再編成 継続審議  
第14号議案 クラブ認定に関する規程案 継続審議  
その他、討議及び報告事項  
[詳細については議事録参照(JOA-WEB掲載)]

(3)業務執行理事連絡会（主たる協議事項）

- |     |   |        |
|-----|---|--------|
| 第1回 | 2019年5月15日(水)   | スカイプ利用 |
|     | 2018年度事業報告書、財務諸表の検討、定款の一部変更<br>福岡県協会と奈良県協会の課題等                            |        |
| 第2回 | 2019年5月23日(木)   | スカイプ利用 |
|     | 2018年度事業報告書、財務諸表の検討   |        |
| 第3回 | 2019年9月12日(木)   | スカイプ利用 |
|     | 2019年度事業計画・中長期計画案の検討、ガバナンスコード対応<br>委員会委員と新委員会、JASS仲裁指摘を受けての対応等            |        |
| 第4回 | 2019年11月12日(火)  | スカイプ利用 |
|     | 公認大会WGからの報告から、競技規則改正について、主催大会の開催について、JOA表彰について<br>MTBO広報費用の要望について等        |        |
| 第5回 | 2020年1月10日(金)   | スカイプ利用 |
|     | 理事の仕事分担、委員会の組織の再編成、将来構想委員会、WMG2021のサポート、全日本大会について<br>ガバナンスコード関係、財務状況について等 |        |
| 第6回 | 2020年2月2日(日)  | 事務局    |
|     | 2020年度事業計画・予算案について、ガバナンスコードについて、事務局への作業依頼方法について<br>委員会の整理・再編成、規程、懇談会について等 |        |

9. Official Partner

株式会社ニチレイ、株式会社リテラメッド、かなめ測量株式会社、株式会社アークコミュニケーションズ、  
サルミングジャパン、株式会社デサント、株式会社ブライトコンパス

〔Ⅱ〕 2019年度の事業

【公益目的事業1】 普及指導に関する事業

1. 指導者養成、資格認定・登録

- ・ディレクター1級、2級講習会は実施されなかった。
- ・ディレクター・インストラクターの資格審査、認定・登録を行った。
- ・ナビゲーションインストラクターの養成講座を実施し、その登録を行った。(10月19-20日埼玉県)
- ・イベントアドバイザー研修会を2回開催した。(9月8日滋賀県、11月30日東京都)
- ・トレイル・イベントアドバイザー講習会を開催した。(5月25-26日愛知県)
- ・指導員制度について、日本スポーツ協会の公認スポーツ指導者への移行のための準備を進めた。

2. 常設コース

- ・新規のパーマネントコースの登録はなかった。
- ・会員からの常設コース情報をWEBにて発信した。2019年度廃止が4コースあった。
- ・ネットプリント 現在47コースが稼働している。(2019年度の登録はなかった)
- ・常設コースの新たな活用方法については検討されなかった。

3. 距離認定

- ・100キロコンペ申請に対して走歩距離認定を行った。 [申請数133件]

4. 普及及び受託事業

- ・会員支援助成を実施し、審査、回答を行い助成した。(12会員)
- ・モデル事業として、九州地区活性化を企画し、委員会メンバーを追加した。  
福岡県から聞き取りを実施し、モデルプランを作成、ポータルサイトの作成に着手した。
- ・ワールドオリエンテーリングディに賛同し、国内8会場(延べ578名が参加)で実施された。
- ・OMM(オリジナルマウンテンマラソン)等の競技主管を受託した。

5. 広報

- ・指導者、競技者、寄付・協賛者等に対するの情報提供として、JOAニュースを2回発行した。
- ・ホームページを維持管理し、情報発信を行った。
- ・理事会・事務局便りを15号から20号まで発信した。
- ・Facebook、Twitterにて情報発信を行った。
- ・プレスリリースを随時実施した。
- ・オリエンテーリング年鑑の発行はなかった。

【公益目的事業2】 競技会の開催及び公認に関する事業

1. 全日本大会を主催した。

4月14日 第45回全日本大会 [WRE対象大会]	栃木県日光市	666名
4月27日 第14回全日本トレイルO大会TempO競技	長野県安曇野市	61名
4月28日 第14回全日本トレイルO大会Pre-O競技	長野県安曇野市	65名
9月22日 全日本ジュニア選手権大会	愛知県岡崎市	124名
10月13日 第8回全日本ミドルO大会 [WRE対象大会]	滋賀県高島市	台風のため中止
10月14日 第46回全日本大会 [WRE対象大会]	滋賀県高島市	484名
11月16日 第12回全日本スプリントO大会	福島県福島市	201名
12月8日 第28回全日本リレーO大会	茨城県笠間市	486名
2月15日 第9回全日本スキーO大会(スプリント)	青森県大鰐町	26名
2月16日 第8回全日本スキーO大会(ミドル)	青森県大鰐町	32名
3月7日 第9回全日本スキーO大会(ロング)	岩手県八幡平市	23名
3月8日 第9回全日本スキーO大会(リレー)	岩手県八幡平市	30名
3月8日 第15回全日本トレイルO大会 [WRE対象大会]	東京都	23名

総計2,221名の参加を得た。

2. 会員よりの大会の申請を受け公認した。

[フットO] カテゴリA

該当大会無し

カテゴリB

5月12日 青い森まなか2日間大会	青森県東北町	361名
2月23日 第1回阪神奈大会	大阪府箕面市	402名

カテゴリS

6月1日 東大前日兼第84回上尾OLC大会	埼玉県本庄市	342名
9月14日 クラブカップ前日大会	岐阜県大垣市	368名
12月14日 第85回上尾OLC大会	埼玉県熊谷市	144名
12月22日 栃木県大会	栃木県下野市	143名
1月12日 パークOツアーin関西2019大阪大会	大阪府 鶴見緑地	87名
1月13日 パークOツアーin関西2019和歌山大会	和歌山県和歌山市	82名
2月15日 パークOツアーin関西2019滋賀大会	滋賀県大津市	111名

[トレイルO] カテゴリT

5月26日 第2回つるまい大会	愛知県東海市	59名
-----------------	--------	-----

### 3. 国際大会の開催

- ・ワールドランキングイベントを申請し開催した。(公認大会以外/清里3daysツツジ祭り大会)
- ・ワールドマスターゲームズ2021の準備を進めた。
- ・アジアジュニアユースオリエンテーリング選手権大会を実施した。 8月28日ー9月1日 山梨県北杜市  
国内で初のジュニアユース国際大会を開催した。8カ国から164名の選手・オフィシャルが参加した。

### 4. その他の競技会を主催・共催した。

- ・ナビゲーション・ゲームズシリーズ2019(18会場) 賛同する団体と共催 延2,514名

### 5. 賠償責任保険及び傷害保険

- ・株式会社保険代理店と引き続き加入した。

### 6. 規程

- ・競技に関する10種類の規則類の改訂を行った。  
日本オリエンテーリング競技規則、競技規則及び関係規則のガイドライン、全日本エリートクラス出場資格規則[2019年度と2020年度以降]  
日本オリエンテーリング選手権[個人競技及びリレー競技]各実施基準  
コース設定の原則、イベントアドバイザーに関する規則、イベントアドバイザー資格認定に関する規則等
- ・地図規程のうち、ISSprOM2019(日本語版)を発行した。

### 7. アンチ・ドーピング

- ・アンチ・ドーピング検査を実施した。
- ・WOC、JWOC等に向けた強化合宿において講習会を実施した。
- ・イベントアドバイザー講習会において、講習を2回実施した。
- ・2020年3月予定の大学代表者向け講習会は、インカレ延期により中止となった。
- ・JADAの検査、教育活動に参加した。  
NF-Rep向けドーピング検査業務に関する説明会。  
ドーピング検査室及び「スポーツにおけるサプリメントの製品情報公開の枠組みに関するガイドライン」に関する説明会。  
アンチ・ドーピング教育・啓発会議  
国内におけるアンチ・ドーピング規則違反の事例について
- ・選手からのアンチ・ドーピングに関しての相談に応じた。
- ・より幅広い啓発活動を目指し、Eラーニングの導入に向けた検討をした。

### 8. 競技者登録

- ・2019年度登録を実施し、登録者への情報提供を行った。(前年度対99.7%)  
[男性1,719名、女性587名、計2,306名(内、学生 1,358名、U18/ 105名、U15/ 119名)]

### 【公益目的事業3】 III 競技力向上事業

#### 1. 選手・役員への派遣

- 8月12日-8月17日 WOC(世界選手権) ノルウェーへの選手・役員派遣を行った。  
(役員 2名、選手8名)
- 7月7日-12日 JWOC(ジュニア世界選手権) デンマークへの選手・役員派遣を行った。  
(役員 3名、選手 11名)
- 8月27日-9月1日 AsJYOC(アジアジュニアユース選手権) 日本への選手・役員派遣を行った。  
(役員 5名、選手 34名)
- 9月27日-29日 WCup(ワールドカップ第5戦) スイスへの選手派遣を行った。  
(選手 3名)
- 10月24日-30日 WCup(ワールドカップ第8. 9戦) 中国 への選手派遣を行った。  
(選手 5名)
- 7月6日-12日 WMOC(マスターズ世界選手権) ラトビアへの選手参加に協力した。  
(選手 45名)
- 6月23日-29日 WTOC(トレイルO世界選手権) ポルトガルへの選手・役員派遣を行った。  
(役員 2名、選手 5名)
- 7月27日-8月3日 WMTBOC(マウンテンバイクO世界選手権)デンマークへの選手派遣を行った。  
(選手 4名)
- 3月23日-27日 WUSOC(世界学生スキーO選手権) 新型コロナウイルスの影響により中止となった。  
・2019年5月25日、WOC,JWOC,WTOC,MTBO代表選手団の壮行会を実施した。

#### 2. 強化委員会

- ・WOCに出場する選手を選考し、代表チームを編成した。
- ・WOC代表選手に対しては、2019年6月9日開催の総会において認定状を渡した。
- ・強化指定選手の指定と強化合宿の開催。アドバンス登録選手制度により強化対象の競技者を把握し、その中からフォレストB強化選手(男子11名、女子9名)を認定した。
- ・ジュニア委員会と共同で、強化合宿を計6回実施した。

#### 3. ジュニア委員会

- ・JWOC2019へチーム編成し、選手派遣を行った。
- ・AsJYOCへチーム編成し、選手派遣を行った。選手34名、オフィシャル5名で参加。  
スプリントではM20森清選手、W20香取選手、M18寺嶋選手、16早川選手。ミドルではM20浅間選手、W20阿部選手  
M18寺嶋選手、M16福室選手が各優勝した。団体は男女とも準優勝だった。
- ・U20,U18強化選手を指定。強化合宿を行った。また、AsJYOCに向けての選手発掘を行った。

#### 4. スキーO委員会

- ・国際大会への参加支援を行った。ワールドカップ第1戦スウェーデンへ男子2名、女子2名。第2戦ロシアへ男子2名、女子2名。  
ヨーロッパユース選手権スウェーデンへ男子1名を派遣した。
- ・日本学連より、強化選手の指定(男子9名、女子3名)を行った。
- ・強化合宿を新雪期(新潟県)、秋期(北海道)、冬期(北海道、山形県)にて計5回開催した。
- ・代表選手壮行会において、インテグリティ教育を行った。
- ・強化候補選手の発掘  
クロスカントリースキー競技を行っている選手への広報活動を行った。  
初心者講習会を3回(山形県、栃木県、岩手県)開催した。
- ・指導者講習会を開催した。
- ・2024年世界スキーO選手権大会の日本開催招致活動を開始した。
- ・2021年にスイスで開催される第30回冬季ユニバシードにおけるスキーO競技の実施採用に向けて寄付活動を行った。  
(スキーO競技の実施が決定された。)

#### 5. MTB-O委員会

- ・2020年3回欧州へのチーム派遣を実施した。
- ・4月13-21日、デンマークビボーにて世界選手権トレーニングキャンプを実施。各国から300名の参加。
- ・7月24日-8月3日 直前トレーニングキャンプ及び世界選手権への参加。  
男女とも30位目標としたが、男子は40位、女子は30位台で達しなかった。
- ・10月10-17日 マスターズ世界選手権ドイツに参加した。  
直前チェコでの2日間国際レースで、羽鳥選手がマスタークラス2日間優勝、総合優勝。  
マスターズ世界選手権 加納選手4位、樋口選手6位。
- ・MTBO日本チームは、IOF役員、各国との連携、合同トレーニング、交流に積極的に参加した。

## 6. トレイルO委員会

- ・第15回全日本トレイルO選手権大会を2020年3月8日に東京都で実施した。  
[なお、新型コロナウイルスの影響により、Open-Eクラスのみ実施]
- ・第2回つるまいOLC大会を公認大会として承認、大会イベントアドバイザーを派遣した。
- ・障害者への普及活動の促進のため、トレイルO協会と協働で働きかけを継続しているが奏効しなかった。
- ・普及員制度の見直しを図ったが実施できなかった。
- ・イベントアドバイザー講習会を実施した。
- ・アジアワーキンググループにてAsTOC2019が企画されたが、開催中止となった。選手等の派遣は見送った。
- ・日本トレイルO競技規則の改訂を進めている。ガイドラインについては未実施。

## 7. 競技委員会

- ・委員の改選を行った。新任/緒方賢史、退任/瀧川英雄
- ・委員会をメールにより、情報共有・意見交換を随時且つ頻繁に実施。2019年度よりスカイプ会議を導入。
- ・規則類の保守。[規程の項目に掲載]
- ・スタート/フィニッシュの運営及び計時に関するハンドブックを作成した。
- ・イベントアドバイザー研修会の実施 [指導者養成・資格認定等に掲載]
- ・公認大会の認可、イベントアドバイザーの任命、Eクラス推薦の審査及び記録の認定を行った。

## 8. 女性委員会

- ・女性競技者増/活性化を目的とした意見収集、PR活動、サポートの仕組み、イベントの実施等を検討し、一部実施した。

## 9. 国際委員会

- ・IOFの専門委員会に委員を派遣し、IOFの活動に協力するとともに、日本の競技力向上に資することができた。
- ・AOCの開催調整を行った。日本では2レースを実施した。(清里3days、全日本ミドル大会[台風のため中止])
- ・JOCと連携した。NF国際フォーラムに出席(1月30日)。他のNFとの交流を図った。
- ・IOFイベントアドバイザー講習会を実施した。アジアを中心に6カ国19名が参加した。
- ・2020年7月開催予定のIOFのGlobal Development Conferenceに登壇者の調整に協力した。

## 10. WMG2021実行委員会

- ・準備状況  
2019年6月9日-13日 SEA Tony Thornley氏、AEA 杉山隆司氏が来日し2年前点検が行われた。  
フォレストの予選、ミドル決勝、ロング決勝の地図作成完了、また代表的なコースの試走を行った。  
IOFとWMG組織委員会/JOAとのAgreement(契約)が締結された。  
2019年11月からBulletin1を発行した。  
2020年2月からエントリー受付を開始した。
- ・広報活動など  
WMOC2019Latviaでチラシ配布を行った。  
2019年10月26-27日リハーサル大会を養父市、香美町で行い述べ200人の参加者があった。

## 11. 全日本オリエンテーリング大会実行委員会

- ・第23回理事会にて、メンバーを追加し、6名の体制となった。  
木村佳司、高橋 厚、丸藤 純、中村 憲、(以下新任)瀬川 出、宮川早穂
- ・2021年度、2022年度全日本オリエンテーリング大会は、全日本オリエンテーリング実行委員会が主体的に推進する。

## 12. 日本スポーツ振興基金助成金報告「助成金確定報告から」

スポーツ団体選手強化活動	交付決定額	計
①スキーO世界学生選手権へのチーム派遣	400,000	
②フットOジュニア世界選手権へのチーム派遣	400,000	
③MTB-O世界選手権チーム派遣	400,000	
④フットO世界選手権へのチーム派遣	400,000	
⑤トレイルO世界選手権へのチーム派遣	400,000	2,000,000
スポーツ団体大会開催助成	交付決定額	計
①全日本オリエンテーリング2日間大会2019	750,000	
②全日本ジュニアオリエンテーリング選手権大会	1,073,000	
③第28回全日本リレーオリエンテーリング大会	200,000	2,023,000
スポーツ団体スポーツ活動助成(くじ)	交付決定額	計
①第3回アジアジュニア&ユースオリエンテーリング選手権大会	7,497,000	
②スキーオリエンテーリング講習会	2,124,000	
③スキーオリエンテーリング指導者講習会	2,230,000	
④オリエンテーリング情報ポータルサイト作成事業	247,000	
⑤ドーピング検査事業	36,000	
⑥ドーピング防止啓発活動推進事業	0	12,134,000
	合計	16,157,000

- ・世界選手権等への派遣・強化活動事業を日本スポーツ振興センターの助成申請を行い実施した。

- ・2019年度日本スポーツ振興基金の助成金は以上のように決定し活動を行った。
- ・選手強化活動の交付額についてはの配分は、事業計画に基づいて配分する。

## 【その他】

### 1. 法人部門

2019年の6月6日に日本スポーツ協会新会館408号室のシェアルームに移転した。

### 2. 関係諸機関等と連携を図り、普及発展に努めた。

- ・国際オリエンテーリング連盟(IOF)に引き続き加盟をした。
- ・IOF総会・委員会に代表を派遣した。
- ・アジアワーキンググループミーティングに代表を派遣した。
- ・公益財団法人日本スポーツ協会に引き続き加盟をした。
- ・公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構(JADA)に引き続き加盟をした。
- ・一般社団法人日本スポーツフェアネス推進機構(J-Fairness)に加盟した。
- ・公益財団法人日本オリンピック委員会(JOC)に引き続き加盟した。
- ・野外活動団体協議会に引き続き加盟をした。
- ・一般社団法人大学スポーツ協会(UNIVAS)に引き続き加盟した。

### 3. 寄附金募集事業活動

#### 寄付金維持等

・29年度「税額控除に係わる申請」を行い認定された[認可日:府益担第1377号/平成29年11月20日]  
[有効期間:平成29年11月20日ー平成34年11月19日]

・2019年度(4月-3月) 寄附金総額5,553,496円となった。

・寄付者一覧(敬称略、順不同)

(株)アーケコミュニケーションズ、(株)かなめ測量、(株)ブライトコンパス、(株)リテラメッド

東京メトロ親交会、香川県OL協会、滋賀県OL協会、(特非)トレイル・オリエンテーリング協会

日本デフオリエンテーリング協会、ユース関東/関西練実行委員会、

池田 博	伊藤好信	伊藤伸悟	伊藤和紀	伊藤聡史	伊東洋一郎	イワタアキフミ
浦瀬太郎	浦瀬香子	大塚校市	大塚ふみ子	大原一由	大原 卓	大町宏志
岡野英雄	尾崎高志	小野盛光	岡崎弘幸	小畑 睦	小比賀健司	加藤一郎
狩野平左衛門岳也	惇田正也	加藤高男	木村佳司	久保田宏彰	栗原友和	清水嘉之
小橋 至	小林克多	後閑茂弘	坂本太郎	佐々木はるみ	酒井佳子	清水嘉之
菅原春巳	高橋明美	高橋 厚	田島三郎	棚橋是之	千田博通	土屋晴彦
土屋 武	天明英之	七宮勝広	浜田康宏	林 大岳	平島俊次	日向 繁
藤原三郎	古津和夫	松島謙一	牧ヶ野敏明	丸山則和	森 玲香	山岸倫也

### 4. 表彰に関する事項

2019年12月7日全日本リレー大会開会式時に表彰(敬称略)

上野山 禎造(茨城県協会)

### 5. 財政基盤の強化、再建化及び活性化

- ・公認大会からの会員支援寄付が、9件/総額754,700円があった。
- ・対話集会を開催した。

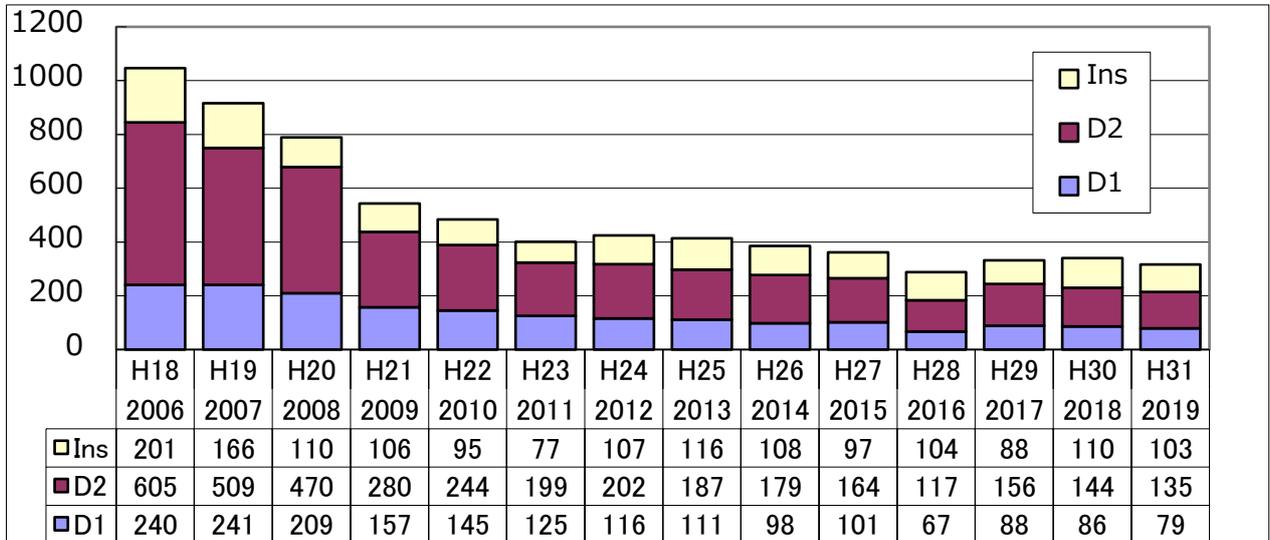
2019年4月13日 全日本大会前日フォーラム内にて開催した。

2019年12月7日 全日本リレー大会開会式式場にて開催した。

附則 大会名	略称に関する注釈	関係機関ほか
WOC	世界選手権 (フット0)	IOF 国際オリエンテーリング連盟
JWOC	ジュニア世界選手権 (フット0)	JOC 日本オリンピック委員会
WCup	ワールドカップ (フット0)	JISS 日本スポーツ振興センター
WMOC	マスターズ世界選手権 (フット0)	JADA 日本アンチ・ドーピング機構
AsOC	アジア選手権 (フット)	J-Fairness 日本スポーツフェアネス推進機構
AsJYOC	アジアジュニアユース選手権(フット)	UNIVAS 大学スポーツ協会
AsTOC	トレイルOアジア選手権	WRE ワールドランキングイベント
WMG	ワールドマスターゲームズ	
WTOC	トレイル0世界選手権	
WMTBOC	マウンテンバイク0世界選手権	
WSOC	スキー0世界選手権	
JWSOC	ジュニアスキー0世界選手権	
EYOC	ヨーロッパユーススキー0選手権	
WUOC	世界学生O選手権	
WUSOC	世界学生SKI-0選手権	

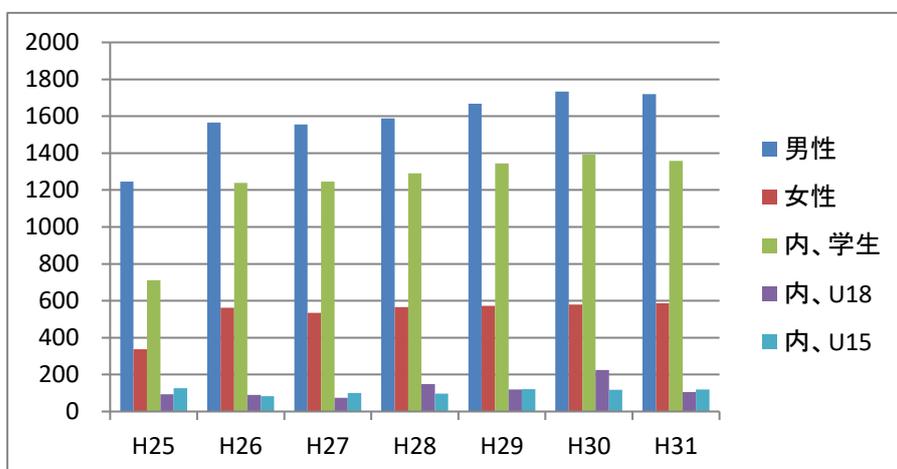
## 年度別指導者登録者数

西暦	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
年度	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
D1	240	241	209	157	145	125	116	111	98	101	67	88	86	79
D2	605	509	470	280	244	199	202	187	179	164	117	156	144	135
Ins	201	166	110	106	95	77	107	116	108	97	104	88	110	103
合計	1046	916	789	543	484	401	425	414	385	362	288	332	340	317



## 年度別競技者登録者数

年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
男性	1246	1565	1556	1589	1667	1733	1719
女性	337	563	535	565	573	579	587
内、学生	711	1239	1245	1290	1345	1392	1358
内、U18	93	90	75	148	119	225	105
内、U15	126	83	100	97	121	117	119
総計	1583	2128	2091	2154	2250	2312	2306



公益社団法人日本オリエンテーリング協会				2020/4/1	
協会名	会長名	〒	住所	事務局氏名	電話連絡
北海道	堀井 学	048-1731	虻田郡留寿都村留寿都18-2	熊谷智之	080-5599-3044
岩手	三ヶ田礼一	028-3314	紫波郡紫波町大巻字桜田25	日下雅広	090-6782-5381
宮城	岡本和広	982-0841	仙台市太白区向山3-18-1向山教職員宿舎401	菊池正昭	090-6457-4939
秋田	富樫博之	018-0402	にかほ市平沢字立沢50立沢社宅301	山下友宏	090-2915-1288
福島	加藤一郎	975-0011	福島市森合北谷地13-9	廣田雅幸	090-2882-3313
茨城	狩野平左衛門岳也	316-0023	日立市東大沼町3-6-20	黒羽和之	
栃木	岡崎良昭	320-0806	宇都宮市中央3-4-7-202	荻田育徳	028-616-6002
群馬	津金沢民男	379-2204	伊勢崎市西久保町3-1057-10	松島謙一	
埼玉	福原正三	350-1108	川越市伊勢原町5-5-5 6-201	福原正三	070-4077-8143
千葉	奥田健史	279-0014	浦安市明海3-2-4-201	奥田健史	
東京	杉本光正	145-0072	大田区田園調布11-12	天明英之	080-6552-5521
神奈川	碓井 進	225-0014	横浜市青葉区往田西3-9-3	佐藤信彦	090-1661-4899
新潟	目黒正文	942-0026	上越市西ヶ窪浜331-1-13	山崎正志	025-544-3732
石川	不破大仁	920-0966	金沢市城南1-11-26	畑中 勝	090-2030-0851
福井	奥居綱朗	918-8011	福井市月見1-2-66	林 博	0776-35-9860
山梨	酒井 寛	408-0034	北杜市長坂町大八田2673-15	酒井 寛	0551-32-2167
長野	美谷島孝	399-0701	塩尻市広丘吉田512-16	豊沢吉弥	0263-57-4831
岐阜	大場尊美	506-0051	高山市中山町296	橋本八州馬	0577-32-0532
静岡	坂本太郎	422-8021	静岡市駿河区小鹿3-3-2 4-45	村越久子	
愛知	新帯 亮	444-0856	岡崎市六名1-5-6	小野盛光	0564-51-9992
三重	前田亮一	514-0055	津市南川路4-2-4	谷 秀司	05-9227-3772
滋賀	古津和夫	520-0022	大津市柳が崎9番1-1218	平島俊次	077-525-7906
京都	古川勝美	611-0002	宇治市木幡金草原16-1-102	小野田 敦	0774-31-4688
大阪	北川達也	583-0033	藤井寺市小山9-12-22	横田 実	090-4299-2997
兵庫	尾上俊雄	655-0049	神戸市垂水区狩口台2-4-14	芝 聖子	078-782-4521
奈良	奥野信亮	639-2113	葛城市北花井953	筒井通子	0745-27-0830
和歌山	山下直也	640-8444	和歌山市次郎丸147	楠見耕介	073-454-1592
鳥根	森山健一	694-0042	大田市長久町稲用846	岡田一秀	08548-2-3766(FAX兼)
岡山	千田博通	710-0131	倉敷市天城台3-1-8	佐藤旭一	086-428-3732
広島	伊東博司	722-0201	尾道市原田町小原405	清水尊司	0848-38-0719
山口	渡邊正次	743-0001	光市室積村6341-3	小林一登	080-6180-6341
徳島	林 和志	777-8012	徳島市大原町池ノ内30-17	林 和志	088-662-6918
香川	松井繁成	765-0022	善通寺市稲木町376-8	木村 進	
愛媛	河野忠康	794-0832	今治市八町西3-7-47	徳野利幸	0898-31-5727(FAX兼)
福岡	原田 隆	811-1355	福岡市南区桧原1-33-22-606	原田 隆	092-737-0611
宮崎	小八重善裕	880-0211	宮崎市佐土原町下田島7789-3	小八重秀徹	0985-73-5543
日本学連	河合利幸	329-2441	栃木県塩谷郡塩谷町船生6082-68	山川克則記念館	

公益社団法人 日本オリエンテーリング協会

〒160-0013

新宿区霞ヶ丘町4-2

Japan Sport Olympic Square

電話 03-5843-1907

FAX 03-5843-1913

e-mail joa@orienteering.or.jp